

入善町 議会だより

6月定例議会

№. 27 号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



盛 夏

墓地公園・国保税条例を可決

発電所建設計画に 特別委員会を設置

こんなことが
決まりました

6月定例議会は、26日から30日まで5日間の会期で開かれ、墓地公園条例や国民健康保険税条例を可決したほか、発電所建設による影響を調査するため、特別委員会の設置を決めた。
最終日には、議長、副議長の選挙が行われ米島一信氏、岡島松次郎氏が当選した。同時に常任委員長選挙並びに委員会所属の変更が行われた。

墓地公園条例を
可決

入善町の市街地周辺では、宅地開発が進み、墓地を求めることが困難になっている。特に新しく世帯を持たれた方からの要望が強いので、町はこれにこたえるため墓地公園を造成することになった。
墓地は分譲ではなく、永代使用となるもので、料金は永代使用料として坪当り10万円、他に清掃管理費として年間1千円を徴収することになっている。
町では希望を受けているので早めに申込まれた。

国民健康保険税
条例を改正

55年度における入善町国民健康保険会計は、医療費の増加が見込まれ、一般会計から繰入れをしてもお増税が必要となるので、税率を改正する。

区分	改定前	改定後
所得割額	100分の4.8	100分の6
資産割額	100分の28	100分の34
被保険者均等割額	8千500円	1万500円
世帯別平等割額	1万2千円	1万5千円

国民健康保険税
の低所得者に対する負担の軽減
基準の改正

前年の所得金額が23万円を超えない世帯は、被保険者均等割及び世帯別平等割の額をそれぞれ前年度の均等割及び平等割の10分の6を減額し、また前年の所得金額が22万円、それに世帯主を除く被保険者1人につき17万円を加算した金額を超えない世帯にはそれぞれ10分の4の額を減額する。

55年度一般会計・
墓地公園・国保
会計補正予算を
可決した

- ◇55年度一般会計補正予算(第1号)
衆議院議員選の費用255万円を補正したものである。
- ◇55年度一般会計補正予算(第2号)
今年に入り建築資材が急激に値上りしたため、横山保育所及び農村婦人の家建設事業の追加補正が主なものである。
- ◇55年度墓地公園特別会計補正予算(第1号)

陳情

陳情は委員会に付託し、閉会中に審査することにした。

- 野中小学校普通教室窓のサッシ化について陳情
- 五郎八地内道路改良舗装について陳情

歳入では墓地使用料830万円、町債を1千770万円に増額し、歳出では工事請負費で2千400万円、用地購入費などに270万円、その他標識設置費などに130万円がいずれも増額された。
◇55年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

54年度の診療費から55年度分を推計すると当初の見込みより3千500万円の増となる情勢となったため、
療養給付費 3千万円
高額療養費 500万円
を追加する。この結果予算総額は9億3千300万円となった。
◇低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正
改正点は、低開発地域工業開発促進法に基づく課税免除等の適用期間が18年以内であったものを20年以内に延長された。
本町の場合は、昭和60年3月30日まで適用される。

議会の組織がえ

第21回定例議会の最終日(6月30日)、日程に追加し私約交代に伴う議長、副議長の選挙並びに常任委員長、副委員長の選挙と所属変更を行った。

議長 米島 一信
副議長 岡島 松次郎

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

◎岩場 俊太 ○屋木 忠義
竹内 壮志 米島 林一
池原 金与 大上 田義
金田 利一

文教厚生委員会

◎江畑 伊作 ○西尾 三郎
九里 郁子 小 林三
坪野 利揚 石 川 昭 男
上野 幸一

産業建設委員会

◎若島 信行 ○五十 浅吉
杉沢 長作 上 里 藤 吉
福岡 沢万 本 田 幸 光
岡島 松次郎

質疑

補正予算の内容をたまたす

海外調査旅費の算出基礎は

九里 郁子 議員

問 一般管理費の特別旅費55万円と、入善町特急停車促進同盟会負担金25万円の算出基礎について説明願

答 特別旅費55万円は各市町の例に習ったものである。特急停車促進同盟会の負担金25

町長

今回の海外調査は、農林省構造改善局が主催し、農村振興対策の調査のためヨーロッパの農村に入る計画で、ドイツ、フランス、イタリアとまわる。必要経費の2分の1は富山県町村会が負担してくれる。

万円は、町が費用を負担するためで、なおこの額程の追加が必要になると思う。

問

国保税の改正案では、応能割と応益割を比較すると応益割1に対して応能割2と高くなっているがさらに応能割を高くして応益割を低く出来ないか。

新川地域の状況はどのようになっているか。

税務課長

保険税の割合は、ここ数年それぞれ割合をながめながらそれを崩さないようにしている。

魚津地方の状況は、ここに資料を持っていないので後程申し上げたい。

フィルドアスレチックの計画はどのように変更されるのか

福沢 万次 議員

問

森ノ木自然公園につくる予定であったフィルドアスレチックは、運動公園につくることに変更されるようである。自然の中で楽しみながら身体を鍛えるのが理想的だと思いが、将来に悔を残さないか。計画がどのように変更され、当

初予算の額も変更されるのか。
商工水産課長

自然公園につくることについては、関係機関との調整がつかずやむを得ず場所を変更することにした。

最初の計画では15ポイントとなっていたが、場所の関係で11ポイントになる。細部の設計は現在国と協議中である。

問

特急停車を実現するためのデモンストレーションとして、入善町民号の参加者を募集しているが、予定人員が確保出来るか。

今年度改装する横山保育所の定員は80名を予定していたが、70名に減少した理由を聞きたい。

町長

入善町民号が45名に達しないのでは信用が薄くなってくる。

役場の課長以上の奥さん方に全部参加するようにお願いした。議員の奥さん方にもお願い出来ないものかと思っている。その他いろいろの方法を検討中であり、何とかして成功させたい。

横山保育所の定員が70名になったことは非常に遺憾なことで努力不足だったと思っている。

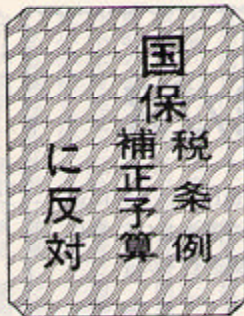
県は70名で充分足りるという見方をする。同様の頑張り合いで飯野保育所の場合、1年越してしまつたことはご承知のとおりである。

しかし入善町からみて県は入善町に深い理解を示し、毎年保育所を建てる事が出来るのは有難いと思っている。

反対

賛成

討論



九里郁子議員(共)

議案第33号入善町国民健康保険税条例の一部改正、並びに議案第38号昭和55年度入善町国民健康保険特別会計補正予算第1号に反対する。

今回の条例改正案は、引上げ率が税率、賦課割合とも所得割、資産割など応能割が低く、均等割、平等割などの応益割が高くなっている。そうではなく所得割や資産割の応能割を高くすることによって低所得者の負担を軽くすることが望ましいと考える。

一般会計からの繰入れや、保健婦活動などを評価しつつも以上の点から反対である。

国保税条例の改正はやむを得ない

国民健康保険特別会計は、一般会計から多額の繰入れをしているが、老人医療費の無料化や高額医療費の支給制度など、いわゆる福祉政策の前進に国の負担処置が追いつかないこともあり、苦しい運営となっている。

五十里浅吉議員(自民)

国、県に改善を呼びかけることは勿論であるが、今日言って今日成り立つものではない。今回の国民健康保険税条例の改正、補正予算はいずれもやむを得ないものと思ひ賛成する。

運営委員会の答申を尊重し賛成

提案された国民健康保険税条例の改正は、議員ならびに医師会、被保険者から構成されている国保運営委員会が、町当局の諮問を受けて慎重に審議し答申されたものであるから意見を尊重し、原案通り改正に賛成である。補正予算についても国保を運営するためにやむを得ない措置と思われるので賛成する。

米島一信議員(自民)

表彰 おめでとう

上島藤吉議員、小林与三雄議員、坪野利揚議員、上田義信議員は、去る7月15日に開かれた富山県町村議会議長会総会で議員在職10年に及ぶ自治功労者として同会の会長から表彰を受けた。また柴垣主事も議会事務局職員として10年以上勤続したことによる表彰を受けた。

- 上島 藤吉 議員
小林 与三雄 議員
坪野 利揚 議員
上田 義信 議員
事務局職員 柴垣勝昭

(順序は議席番号)

議会のうごき

- 5月
7日 9日 下新川郡町議会議長会視察(石川県七尾市)
10日 正副議長、委員長会議
19日 特急停車について金沢鉄道管理局へ陳情
19日 20日 総務委員会県外行政視察(石川県加賀市)
22日 文教厚生委員会町内行政視察
23日 広域圏市町議長会
27日 産業建設委員会町有林視察
29日 下新川三町議会議員協議会(宇奈月町)



朝日が川発電所の説明を聞く

- 6月
2日 東部議長会(朝日町)
3日 4日 産業建設委員会県外行政視察(石川県高松町)
5日 6日 文教厚生委員会県外行政視察(長野県豊野町)
8日 9日 東部議長会行政視察(岐阜県高山市)
10日 総務委員会町内行政視察
13日 議員全員協議会
17日 議会運営委員会
26日 第21回議会定例会(第1日目)
28日 議員全員協議会
議会運営委員会
第21回議会定例会(第2日目)
30日 第21回議会定例会(第3日目)
7月
7日 下新川三町議会議長会(朝日町)
10日 議員全員協議会(朝日)
小川発電計画現地視察
14日 広域圏議会(魚津市)
15日 県議長会臨時総会(富山市)
21日 議員全員協議会(新愛本発電計画現地視察)
22日 24日 広域圏議員行政視察(山梨県甲府市)
31日 広域圏市町議会議員団体育大会(魚津市)

新愛本・朝日小川第1, 第2 発電所建設計画に どう対処するのか？

発電所の建設に利点がない

若島 信行 議員（自民）

問 新愛本発電所の建設により、入善町は被害を被るばかりである。関西電力も水温が放水口で摂氏1.5度低下することは認めている。水温の低下を関西電力はどのようにして回復させようとしているのか。

稲作被害に対する補償問題について町長はどのように考えておられるのか。

資源の無い国として水資源の利用は当然であり、それだけにこの計画については慎重に対処したいと考えている。

新愛本発電計画は本流発電で、流量は変わらないが、ただ13キロ程水がトンネルを通る為1.5度水温が下り稲作に悪い影響を及ぼすことが心配されている。そこで関西電力へは一日中灌水するのであるから冷水被害が出るときかんに言っている。

しかし実際は朝晩に集中して灌水することが多いのであるから、被害の程度は少し違って来るものと思われる。

また現在も黒東合口用水の水温は愛本発電所の放流水を受け入れるため、本流の水を取り入れる黒西合口用水と比較し1度低い。こ

れに加えさらに1.5度下ると大変なので公平に混ぜるように申し入れている。そうしなければ少しは緩和出来るのではないか。

稲作に対する被害の金額は試算しているがまだ公表の段階ではない。

問 関西電力の説明によると黒部川扇状地の地下水は、愛本合口ダムより下流で浸透するのだから、新愛本発電所を建設しても影響はないとし、朝日小川発電のための分水についてほとんど地下水に影響はないという学者の報告があったと聞くが町長はどのように考えているか。

町長 黒部川の水が減れば地下水に影響があるに決まっている。私はこのことを強く言っていきたい。学者が学説としてその影響が少いと報告していることは承知している。また関西電力や北陸電力が立場上的影響が無いというのは当然である。

新愛本発電は本流発電で、出平から音沢までトンネルを通ること、朝日発電の分水の量と考え、水田や愛本合口ダム以下から浸透するという地下水には影響が少いと思っている。（次ページへ続く）

新愛本発電所計画図



最大発電力 124,000 KW
最大使用水量 74.00 m³/s
有効落差 193.80 m

水温の低下は？ 地下水への影響は？

通商産業省立地公署局が調べた標準、猿飛付近から浸透する深い所にある地下水はこれとは違うものである。

問

本年度入善町へ傾へクターの転作配分されたが、県はどんな方式で計算し配分したのか。

転作の達成率はどのようになっている、来年度の配分はどれ位と見込まれるか。

また小麦の収穫が落ちたこと聞くのでその原因や、それから小麦の作付をどのように考えているか。

町長

入善町は良質米の産地であるということと本年度の転作率は11.9パーセントとなっており、県平均は13.1パーセントである。

作物としては小麦に転作が集中しているのに対して対処するため、県の補助を受け、2億3千万円の事業を実施した。

農政課長

来年度の転作配分はまだわからないが増えることは間違いない。転作達成率は10パーセントである。小麦の反収は昨年比で17パーセント程落ち込んだ。原因は薄まってきたこと、播種の時期が遅れたこと、排水の悪い畑があったためと思われる。

小麦の場合刈取期が梅雨の最盛期に入る悪条件があるが、麦をふやさねばならないので青島に採種圃場を作った。

問

黒部川上流硫黄沢の山崩れによ

る濁流水が、内水面漁業にどのような影響を与えたのか。また稚魚が育つ河川の適切な水温は何度位で、新愛本発電所が完成し15度低下することによる内水面あるいは沿岸漁業にどのような影響を与えるのか。

商工水産課長

黒部川では濁水のため鮎の成育が非常に悪くなっている。また沿岸漁業では定置網や刺網に泥が付着し沈下したため魚が入

りにくくなった。特にカレイ、ヒラメの漁獲に大きな影響があった。河川の水温が低下することは魚族の生息には不都合である。適温は鮎では摂氏15度ないし20度、イワナの場合摂氏5度ないし10度と

関連質問

発電所の工事が始まると、建設用大型自動車を通る道路は現在の道路では狭く、住民にも迷惑がかると思ふ。また濁水による漁業

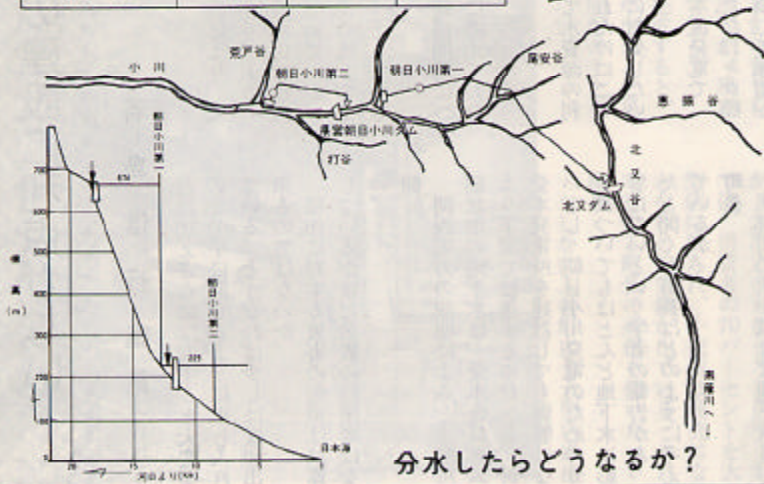
本田幸光議員

分水したらどうなるか？

朝日小川発電計画図

発電所の概要

発電所名	最大出力 (KW)	有効落差 (m)	最大使用水量 (m ³ /s)
朝日小川第一	42,800	423.0	12.0
朝日小川第二	14,200	88.0	19.0



放水路を開渠に出来ないか

江畑 伊作 議員 (自民)

問

新愛本発電所は半地下発電所となるため、放水路は2キロメートルの導水路に加え、さらに1千831メートルも地下を通ることになる。冷水の被害を大きくするのではないかと考える。この点について町長の考えを聞きたい。

町長

発電所を地下式や半地下式にすることは、電力会社にメリットがあるからするのではなく、環境庁

への影響も心配されている。このようにまったくメリットもないこの上に立ち、補償の問題を町長はどのように進めようと考えているか。

町長

2つの発電所は入善町にまったくメリットがないことは言われる通りである。しかし国家的見地に立つとそんなエゴイズムが通るかどうかが、慎重に村应考虑すべきだと思う。

北陸電力では町の希望を入れて国営の黒東合口用水事業に協力し、発電所を建設すると言っている。また新愛本発電所を建設するか

わりに入善から粟本、栗虫、音沢を通り宇奈月ダムサイドまでの右岸道路を作るよう関西電力と建設

省に申し入れられている。

2つの発電所建設計画は入善町にとり好ましいとは言えないが、その中から少しでもメリットを取り出すよう努力していきたい。

町長

日本が置かれている立場から、また広域的な行政も考えて、入善町としては「絶対反対」というよりもこの際かけさせる橋、通る道をつくらせておく方がよいのではないかと考えている。

発電所問題を検討することになっている。町長の答弁は期待していたよりも弱く感ずるのでもっと力強い決意を聞きたい。

冷水害をもたらすのは放水路上りむしろ長い導水路であると考えている。しかし黒部川の地形では導水路を開渠とすることは困難で

が自然保護のため強く指導しているからである。冷水害をもたらすのは放水路上りむしろ長い導水路であると考えている。しかし黒部川の地形では導水路を開渠とすることは困難で

発電所や放水路の構造は、電力会社が関係省庁と協議して定めるので、町長としては「意見を会社に伝える反映するまっぴらめたい。

発電所や放水路の構造は、電力会社が関係省庁と協議して定めるので、町長としては「意見を会社に伝える反映するまっぴらめたい。



調査地現地調査

農・畜産物の消費を高める方策は

屋木忠義 議員(自民)

問

大蔵省は「米価は据え置く、ただし麦価は7.9パーセント引き上げたい」と言っているようである。

米と麦とでは農家の受止め方が違ふ。総ての農家が麦を作っているわけではないし、その麦も大麦から次は小麦に変えられるのではないかと農家は不安を感じている。この際米価を上げると同時に少しでも消費を増やすため、学校給

食を全部米飯完全給食にすべきだと思ふ。

これらに対する町長の考え方を聞きたい。

町長

3年間も米価を据え置くということは、国の財政事情や食糧制度を守るためとはいえ、農家にとってはたまつたものではない。

国民の中には、米が余っているのだからと値上げに反対する意見

もある。

米価審議会では各種団体がいろいろな発言をするので、どんな意見が出るか注目している。

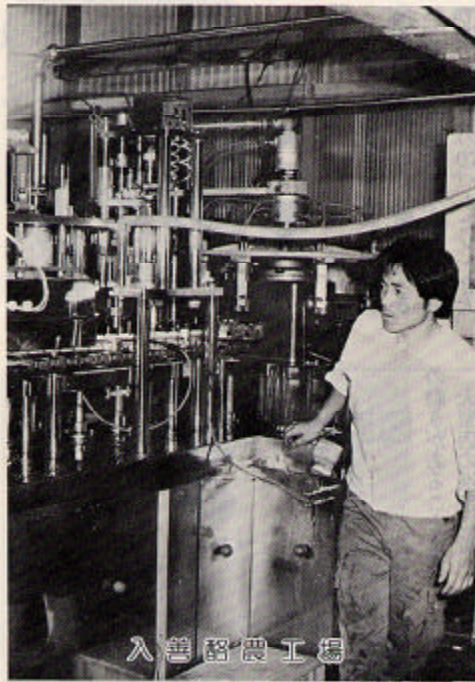
麦価を7.9パーセント引き上げたことだが、米価が据え置かれるのとは大変な違いであり、県下市町村と力を合せ、私も関係方面へ働きかけて行きたい。

54年度から3か年計画で麦を対象とした事業を計画している。

今年度は麦専用コンバイン4条刈り15台、中古30台、播種機6台、溝切機6台の購入に補助し、乾燥施設2棟、飼料倉庫1棟の建設に補助する。

総事業費は2億1千600万円、このうち1億2千800万円が国、県、町の補助である。このように転作の転作には協力をしている。

米飯給食の現況は、週2回の学校が入善小、青木小、横山小、入善中の4校、週3回の学校は柗山



入善製米工場



おいしい給食

小、舟見小の2校、週5回の学校は上原小、飯野小、黒東小、野中、西中の5校となつていて、このうち上原小、飯野小は家からご飯を持参している。

P.T.Aや議員の皆様のご協力を得て、町内の学校が全部週5回米飯給食となるよう努力する。

問

外国からの輸入が多いので、日本の農畜産物が余るのだと思ふ。このようなかで酪農家や後継者がいても、生産調整があるため存分に力を発揮出来ない。学校が休みの時最も困っている。

大手メーカーはこの時とばかり安く買いたたき暴利を得ようとしている。行政の力で何とかならないか。

町長

学校が休みになると牛乳が余るので困つておられることは承知している。10万本位余るのではないかと推定している。

町内には45人以上の事業所の勤務者が2千600人程で、これに公共機関に勤める者30人を加えると3千人となるので、この人達に低廉な価格で配達すれば消化出来るのではないかと、検討をいただきたい。

駅前中央通の線の整備を急げ

竹内 壮太 議員（無）

問
入善駅前中央通り線は、昭和27年に計画されてから20年余りになるが今だに着工の見通しがたっていないよつである。

現在の道路では人の通行並びに自動車運行などに狭いので不便である。改良はいつになるか伺いたい。

町長

都市計画については駅前中央線よりも中町線優先し事業を進めている。この事業は商店街を再開発し、4町内をつないでボランティアチェーンとし、将来は們山寺線により8号線と連絡させる。

中央通り線は駅前から中町を経て上田へ抜ける計画であるが、物件移転等に大きな財源を必要とする。

特に中町から駅前までの200メートルには移転しなければならない家が20軒あり、補償額は概算3億2千万円、それに工事費を加えると膨大な事業費になるので県営事業としてもらうよう運動を進めた。

問
人口3万人、県下最大の町のものとして現在の入善駅前の広場はいささか淋しい気がする。

町の玄関として、また文化の香



完成が望まれる中央通の線

り高い町の象徴として、本町出身の芥川賞作家故柏原兵三氏の文学碑を建立し、駅前広場充実の一端としてどうか。

町長

故柏原兵三氏の文学碑は、駅前にある少女の像と同じよつに旅情を慰め、その土地の文化の香りを高めるもので良いと思うが、現在の駅前では狭いと思う。

駅前中央通り線が完成すると、広場を拡張することが出来ると思うので、その時点で同好の士と相談して適切に対処したい。

大型店進出に どう対処する のか

九里 郁子 議員（共）

問

入善町に大型店（ユニー）の進出が計画されていると聞いているが、大型店の進出をみた近隣市町では、消費者の70パーセントを大型店に取られ、小売店は商売にならないとの実績が出ています。これに対する町長の所信を伺いたい。

町長

たしかに入善町にも大型店進出



大型店

の動きがあることは聞いている。

大型店の進出に当たっては、魚津市の徹を踏んではならないと思っっている。近隣の市町の大型店へ取られた70パーセントの消費者というのは、その市町に出来た大型店に取られたのではなく、西武、大和を中心とした富山商店街にお客を取られたのであり、商店街の中心に大型店をおき、お客を呼び寄せ、それにより小売店も潤うという姿が理想的な形ではないかと思っっている。したがって魚津のような大型店の進出には反対である。

問

入善駅前の整備と都市計画について考えを聞きたい。

町長

都市計画については特急駅の問題ともからんでいるので、駅から8号線への道路の整備を考えている。しかしこの事業は非常に金のかかる事業となるので、家の移転補償、土地の買収等、県の事業でやらざるを得ない。したがって中

町線の都市計画を終らせてその後を考えている。

また駅前の整備については、現在の自転車置場の拡張を計画している。国鉄との交渉では官舎を2棟とり壊して自転車置場とする約束が整っている。官舎跡地の利用については、都市計画の代替地とか、公共施設の建設とかいろいろと案があるがまだ固っていない。

問

老人憩の家は大変喜ばれているもつと利用しやすくするため、福祉バスの運行を考えてほしいとの声があるがどうか。

町長

老人憩の家利用については、月1千377人であり、他のコミュニティーセンター、改善センターなどの老人の方の利用度も1千57人で、合計2千494人である。だから老人憩の家のみに福祉バスを出すことには問題があり、今後の検討課題としたい。



保存木を指定する考えは

本田 幸光 議員(自民)

問 入善町は昭和47年に公園都市宣言をし、以来その名にふさわしく各種補助を受け公園づくりや自然を守る施策など取り組み、各方面から注目されている。今後なお一層緑を育て自然を愛する気運を高めるために珍しい木を指定しながら保存するための条例を制定すればどうか。

町長

保存木を指定すればという意見に賛成する。

黒部川扇状地にある入善町にはいろいろ珍しい木がある。例えば下山の藤の木、上原、柗山小学校前の松、北限植物と言われる沢杉、春日部落の熱帯北限植物などである。このほか町全域から育てたい木、珍しい木、長寿の木を捜して指定したい。

指定の方法については教育委員会を中心に話し合いながら検討したいので、今しばらく時間を貸していただきたい。

県外先進地視察記

産業建設委員長

池原 金与志

現在町が対応しなければならぬ問題の内、漁港の整備、大型店舗の進出、墓地公園の建設と運営、都市計画街路網整備、以上4点について認識を深めるため、6月3日から4日の日程で、産業建設委員会は先進地視察を行った。

最初の視察地経田漁港は、日本海、富山湾及び魚津周辺漁業の基地として地の利を得た漁港である。水深は2.0メートルないし4.5メートル、泊地面積4万6千平方メートル、航路面積8千平方メートルを有し、大型漁船でも自由に入港出来、また漁獲物陸揚施設も完備されていた。入善漁港にも陸上施設が必要であると感じた。

立山町に進出した大型店舗ユニーは、五百石商店街の中心地から1キロメートル程富山市寄りの所で、昨年12月に開店した。

総敷地面積は7千9百平方メートル、建物延面積4千900平方メートル、駐車場60台分を有する広々としたショッピングセンターである。

立山町商工観光課長の説明では、ユニーからの進出申込は52年12月

にあり、開店までの2か年の間に地元商業活動調整協議会と問題点について何度も調整を重ね、テナント(貸)店舗600平方メートルを地元商店業者に優先して充当することと合意した。大型ショッピングは消費者は希望するが、地元業者には好まれないとのことであった。

高岡市二丁霊苑は、静寂な山腹に位置し、17万人都市にふさわしい墓地公園であった。霊苑面積は18万9千200平方メートルで、墓地が4千275区画あり、第1種から4種まで用意されている。現在の墓碑建立数は2千17基、無量寿堂(納骨堂)を上段に配し、区画が整然としていた。8月13日には毎年御霊祭(みたままつり)を行い、縁故者の参集を求めている。墓地の権利を持ちながら、県外へ転出した人達の墓は、管理上問題点があるとのことであった。



視察2日目の高松町は、人口1万1千人、河北郡の砂丘地帯にある西瓜とぶどうの産地として有名な所である。

本年度の子算総額は25億4千万円、一般会計予算額は17億5千万円と比較的小規模の町である。

同町では、昭和48年から都市計画街路網整備事業として、国鉄駅と中心商店街を結ぶ事業を実施している。計画延長は1千600メートルで、すでに1千100メートルが幅員18メートルで完成している。この道路は将来の展望に立ち人家密集地ではあるが、新設道路として実施されているもので、思い切った計画であると感じた。またこの道路には消雪装置と下水路が付いていた。

2日間にわたる視察には、参考になる点が多く、これからの進め方を話し合いながら帰路についた。

文教厚生委員会 視察報告

文教厚生委員長

福沢万次

文教厚生委員会は6月5日、6日の両日にわたり、今年度建設する新川むつみ園の参考にするため、新潟県名立町の名立園と長野県豊野町の水内荘を視察したほか、統合小学校建設のための参考に豊野東小学校を視察した。



なるほど

名立園は本年4月に開園したばかりの真新しい施設である。場所は国鉄名立駅から徒歩でも10分程で行くことが出来る丘の上に建設されており、交通の便も環境もよい所である。

ここは18才以上の心身障害者の

比較的重度の者を対象にした救護施設であり、定員は100名で、現在は定員いっぱい男50名、女50名を収容している。

建物には鉄筋コンクリート2階建て、男子寮と女子寮があり、体育館は体操や遊戯、集会に大変役に立っている。

運営は社会福祉法人として行っており、職員数は基準50人に対し嘱託医2名を含め33名であり、措置費1人1か月11万円では運営が苦しいが、ボランティアの援助や収容者の家族の手助でどうにかやっているとのことであった。

長野県豊野町の精神薄弱者援護施設水内荘は、豊野町の家並を少し外れた小高い丘の上にあり、こ

こもフェンスは張っていない。この施設は15才以上の軽度の精神者を対象にしており、更生に必要な生活及び職業の指導訓練をし実社会へ復帰させることを目的としている。設立は昭和37年で長野県社会福祉事業団により運営され

陳情と 研修視察記

総務委員会副委員長

若島信行

総務委員会は、5月19日から20日にかけて特急停車の陳情と研修視察を行いました。

金沢鉄道管理局への陳情は、町当局のほからいにより、区長会長さん方と議会が合同で行ったものです。管理局の長田営業部長に、入善町がいかに特急停車を必要としているか陳情しました。これに対し長田部長は、「特急列車は、早く目的地へ着かなくては意味がない。止まれば止まるだけ遅くなる。しかし止まらないとお客が乗らないから経営が成り立たない。国鉄はその地方の発展も考えねばならないからどこに止まるかは、政治的配慮とも結びつく。入善に停車することは、前向きに検討する」とのことでした。

研修視察の課題は、上下水道についてで、この内下水道については、市街地が大きくなればなる程生活雑排水により環境が汚染されやすくなるため、入善町でも早急な対策が望まれております。加賀市の下水道は、加入率95パーセント、下水道は昭和54年に片



特急停車の陳情

山津温泉地区を対象に工事を完了したものです。処理場は地下式で外からは見えないし、密閉されているので全く臭いもしませんでした。処理場の中は工場といった感じで、処理前はコーヒー色をした下水が行程を追ってきれいになり、排出される水は、すきとおっておりました。ただし大変費用がかかり、維持管理費は本年度2億円とのこと、対象人口の2万人で割ると1人当たり1万円もかかることとなります。そのためか加入を拒む者があり、困っているとのことでした。

加賀市は、平野のあちこちに丘があり海面との高低差がなく、地下水の水質も悪いいため上下水道に早くから着工したのです。入善町は地下水にも表流水にも恵まれておりますが、上下水道は近代生活上どうしても必要なものであり、早急な着工が望まれます。

町有林を 視察して

産業建設委員

大林 政雄

町議会産業建設委員会は、5月27日、舟見長尾谷の町有林(面積92ヘクタール、植樹林15万本余、植樹年度昭和37年〜40年)の視察を行った。

前日は予報通りの強風雨、視察日の延期が伝えられたが、一夜明けた27日は前日と打って変わったさわやかな五月晴れに急きょ実行の知らせが飛んだ。その為予定より1時間遅れの午前9時マイクログラスにて庁舎前出発、県道舟見線、林道六谷線と緑したたる治道をかきぬけ10時林道終点に到着した。森林組合労務班の好意による現地の雑木でつくった真新しい杖10数本が我々を迎える。勿論現地までは徒歩である。山登りは誰でもこたえる。急勾配にもかかわらずみんな元気だ。

11時現地に到着、早速森林組合の山本外輝雄さんから下刈り、根踏み、枝打、雪起し、歩道の新設や修理などの保育事業について説明を聞いて、労務班の方々の苦労の程がしのばれて自ら頭が下った。自然のさびしさもまたひとしお



大きくのびました

である。一面に植付けられた杉であつたが、雪崩の爪痕が随所に見られる。15年余り幾多の風雪に耐え抜いた杉は、殊さら勇壮な感がある。そして見事な並木も形成している。大きなもので丈10メートル、胸高20センチ以上はあるだろう。

「おクワラビが沢山……誰かが叫んだ。前日の降雨が幸いして杉の間あちこちから顔を出している。しばしの間ワラビ採りを楽しむ。

去る4月23日舟見森の木山で植樹祭が行われた。「荒廃した郷土に緑を取り戻そう」のキャッチフレーズのもとに毎年行われているのである。緑化事業に対する関心も年々向上しつつあるという。喜ばしいことである。森林組合長の職を汚す自分としても今更の如く山資源への認識を深めさせられ、責の重さを痛感した次第である。

森林のもつ特有性、それは成果を見るまでの長い長い歳月とすぐには実らぬ投資である。故に何処の組合も運営が苦しいという。それは大きな力での対処しなければと森林組合合併の兆しが見えてきた。(この地区も5月19日、新川地区合併促進協賛)

山資源開発向上の為にも歓迎すべき現象であろう。ザラク峠の一角に立ち、はるか入善平野を見下しながら「山資源を見直そう、その必要性を呼びかけよう」その心に念じて緑の森から帰路についた。

入善町漁村センターの備品として 寄付を受入れたものは次のとおり

寄付者氏名	品名	数量	金額
入善町漁村センター運営委員会委員長 谷 雪枝	応接セットほか	85	572,720
野田時計店	電子時計	1	15,000
横山漁業組合	応接セット	一式	300,000
尾山賢二	立型灰皿	3	18,700
広川建設	花壇台	6	150,000
入善タクシー・丸善交通	電気あんま器	1	50,000
神子沢呉服店	座布団	10	20,000
浜瀬理容店外7人	座布団	120	72,000
東善建設	カラーテレビ(14型)	1	100,000
区長12名・公民館長・体協長・漁業組合長	カラーテレビ(22型)	1	139,900
木田木工店	花台	1	25,000
しまや陶器店	花瓶	1	20,000
長谷川工務店	碁盤(碁石共)	一式	20,000
長谷川工務店	将棋盤(コマ共)	一式	10,000
大田電気店	電気掃除機	1	28,000
白石電器	電気掃除機	1	28,000
松原工務店	演台	1	50,000
広川建設	演壇	3	144,000
米沢電気商会	扇風機	1	20,000
入善町農協同組合	冷蔵庫	1	120,000
寺林家具店	食器棚	1	20,000
西川モータース	ポット	2	8,600
ミチイチ電機店	ポット	2	8,600
ばら寿司	ポット	2	8,600
真岩建設	会議用テーブル	15	90,000
池原建設	会議用テーブル	15	90,000
山崎薬局	体重計	1	5,000
山崎薬局	温度計	1	5,000
金山金庫	テーブル掛	1	10,000

黒部川水利調査特別委員会を設置

北陸電力株式会社の明日小川 副委員長
 発電所建設計画と、関西電力株式会社の新愛本発電所建設計画の影響を調査するため入善町議会に黒部川水利調査特別委員会を設置した。

構成メンバーは次のとおりである。

委員	五十里
委員長	竹内 浅
委員	米島 一 吉
委員	杉沢 長 作
委員	福沢 万 光
委員	本野 利 幸
委員	坪田 利 一
委員	金子 昭 男
委員	石川 義 信
委員	上田 信 男

寄付を受入れたものは次のとおり

寄付申出 受付年月日	寄 付 金 品	寄 付 目 的	寄 付 者	
			住 所	氏 名
55. 3. 5	スクリーン、旗立台、万能ネット 各一台 (¥68,500)	青木保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 野 沢 千枝子
55. 3. 6	餅つき道具、式用幕 (¥124,000) 各一式	南部保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 上 田 陵 子
55. 3. 6	カウーマット (¥22,000) 二枚	横山保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 草 恵美子
55. 3. 10	テント (¥68,000) 一張	芦崎保育所の 備品として		昭和54年度母の会 代表 清 堀田知恵子
55. 3. 10	教育用カラーテレビ(20型) 一台 (¥110,000)	上原小学校の 備品として	東京都渋谷区桜 丘町22-14	高 田 吉 次 郎
55. 3. 12	回転両面黒板、水晶電子掛時計 各一台 (¥44,500)	青木小学校の 備品として		昭和54年度卒業生一同 代表 吉 沢 正 勝
55. 3. 17	油絵30号(光風会員産清彦作)	西中学校の備 品として		昭和54年度卒業生一同 代表 摩 力 男
55. 3. 25	エレクトーン 一台 (¥310,000)	上原小学校の 備品として	入善町入膳 5430の2	柏 原 望 子
55. 4. 7	サッカーゴール (¥120,000) 一式	們山小学校の 備品として	入善町們山 4373-2 ＃志又1552-2 ＃們山新167	青 木 芳 夫 青 島 田 好 達 大 塚 好 雄
55. 4. 11	黒松 (¥230,000) 23本	中央公園へ	入善町入膳 5444	尾 崎 嘉 六
55. 4. 21	鉢盤、鉢石、鉢筒 (¥207,000) 一式	中央公民館の 備品として	入善町們山 2742	中 川 正 明
55. 5. 1	16ミリ映写機 (¥200,000) 一台	西中学校の備 品として		入善ライオンズクラブ 会長 小 野 常 正
	グローブジム (¥182,000) 一基	們山小学校の 備品として		
55. 5. 1	縦帳 (¥1,450,000) 一式	入善中学校の 備品として	福井市宝水 4-9-13	飛鳥建設株式会社 取締役支店長 生 駒 加 作
	(¥260,000)		富山市総曲輪 4-11 1	鈴木工業株式会社 取締役社長 福 島 順 二
	(¥210,000)		富山市上富居上 江1-4	富山空調機株式会社 代表取締役 森 治 一
	(¥40,000)		富山市堀川町 357-2	中央管機工業株式会社 代表取締役 近 藤 良 彦
	(¥40,000)		富山市布瀬町 3-20	藤川電設工業株式会社 代表取締役 藤 川 義 三
55. 5. 9	座高計、照度計 各一台 (¥80,000)	入善小学校の 備品として	入善町入膳 5218	柚 木 一 夫
55. 5. 12	国歌大観、国語学研究事典外 参考書	町立図書館の 備品として	入善町入膳 6250-2	田 中 忠 一
55. 5. 21	演台 (¥73,000) 一基	東部保育所の 備品として		昭和55年度母の会 代表 堂 徳 愛 子
55. 5. 31	ストップウォッチ (¥8,000) 一個	小摺戸保育所 の備品として		昭和55年度母の会 代表 小 路 丸 子
55. 6. 6	旧海軍軍刀 一振	武村福祉会館 郷土資料室へ	入善町上野 5419	岡 島 和 義
55. 6. 6	カラーテレビ(16型) (¥126,800) 一台	們山保育所 の備品として	入善町小杉 1792	前 田 組 代表 前 田 秀 男
55. 6. 19	カラーテレビ(20型) (¥400,000) 二台	飯野小学校の 備品として	東京都港区南青 山2-22-3	笹 島 信 義
55. 6. 19	カラーテレビ(20型) その他付属品一式 (¥300,000) 一台	"	大阪府北区与力 町2-27 与力町スカイハ イツ807	大 野 秀 雄
55. 6. 19	カラーテレビ(20型) その他付属品一式 (¥300,000) 一台	"	札幌市東区北32 条東4-789	上 島 民 雄

寄付者のご厚志に対し深甚なる謝意を表します。

編集後記



一か月以上も続いた梅雨も、太平洋高気圧の勢力増加で、日本列島全体が、夏本番のおとずれとなりました。これでこそ土用の価値があるものと思います。各人、思いの暑気払いがあると考えますが、この際、家の内外、湿気除きに、一日汗して、畳を干し、住まいの整理をはかり、風通しを良くすれば、暑さも自ずと柔らぎ健康保持増進に役立つと信じます。そのあと、浴室のシャワーで体の汚れを落し、冷たいビールでも一ぱいやれば気分上々、是非家族中で一日、大掃除をやってみてほしいものです。

暑さに負けず、頑張りましょう。

~~~~~

本号より議会だより編集委員が代りました。ご協力をお願いします。

米島一信 若島信行  
 岡島松次郎 上野幸一  
 岩場俊 小林与三雄  
 江畑伊作 福沢万次